

### 私達が育てるべき「子供の姿」とは



12月15日(火)に実施しました海老原主査の講話では、「長期研修生のこれからの期待することについて」と題し、種々の資料を基に、社会の変化に主体的に対応できる児童生徒を育てることの重要性等について、お話しいただきました。

長期研修生からは、「今年の『世界競争力ランキング』で示されていた、日本の競争力の低下に不安と危機感を感じた。」や「それぞれの部署に役割を与え、信じて任せていくことがマネジメントでは重要だと聞き、現場に戻ってからの学年・学級経営に生かしていきたい考えたと思った。」、「これからは、様々な事象に対して『疑問をもてる』子供たちを育てていきたい。」などの感想が聞かれました。

### その時期にできる最善のことを提供する

12月21日(月)に実施しました安藤副参事によるゼミナールでは、安藤副参事の講義にとどまらず、センター指導主事が参加しての協議も行われ、内容の濃い1時間30分となりました。特に協議では、「どんなときも、教育活動を止めてはならない」と題し、安藤副参事や指導主事の教育に対する熱い思いをうかがうことができました。



長期研修生からは、「コロナ禍の中でオンライン授業、オンデマンドによる授業、従来の対面授業と、様々な形態の授業が出てきているが、それぞれのよさを捉えて、授業を進めていくことが大切だと思った。」や、「学校行事等の特別活動でも、私たち教員が『目的』を十分に踏まえ、子供たち自身に進め方を工夫すれば、『主体的・対話的で深い学び』の実現が可能であることが分かった。現場に戻ってから、意識していきたい。」などの感想が聞かれました。

